

御池沼沢ニュースレター

平成 30 年 4 月 24 日 Vol.33

今年度もよろしくお願ひします

4 月 14 日（土）には、今年度 1 回目の活動にご参加いただきましてありがとうございました。14 日の活動では、竹林の駆除事業の一環として、水源林の中でモウソウチクのタケノコを掘るなどの作業を行いました。

竹林の駆除事業は、今年で 4 年目です。御池沼沢ではモウソウチク以外に、5 月から 6 月にかけてはマダケやハチクのタケノコが出ます。昨年度は、一昨年度に比べてマダケやハチクのタケノコの出が少なく、駆除事業の効果が出てきたと思っていますが、まだまだ気が抜けません。タケノコを見かけましたら取り除いていただきますよう、ご協力お願いいたします。



作業の様子
←→



今年度は、活動日に観察した植物をとりあげ、いつごろ、どのような花が観察できるか、ご紹介していきたいと思います。



←ヘビノボラズ（葉のわきから 3 方向に出る鋭いトゲが特徴です）

ショウジョウバカマ（花にはちょっと遅かったでしたね） →



この 2 種以外にも、シラタマホシクサの芽生え、ノカンゾウやミズギボウシの葉が沢山ある様子を観察しました。これからが楽しみです。

5 月の活動予定 集合時間：午前 9 時 30 分から

- | | | |
|-------------|-------|-------------------|
| 5 月 12 日（土） | 西部指定地 | 抑制植物駆除 |
| 5 月 16 日（水） | 寺方町 | 文化財整理作業所（変更可能性あり） |
| 5 月 23 日（水） | 西部指定地 | 食虫植物保全区域 |
| 5 月 30 日（水） | 東部指定地 | 食虫植物保全区域 |

御池沼沢ニュースレター

平成 30 年 5 月 11 日 Vol.34

4 月 26 日（木）の活動では、加田勝敏先生にご指導いただき、東部指定地の中央にある松の木近くで、トウカイコモウセンゴケの生育環境保全のための除草作業を行いました。

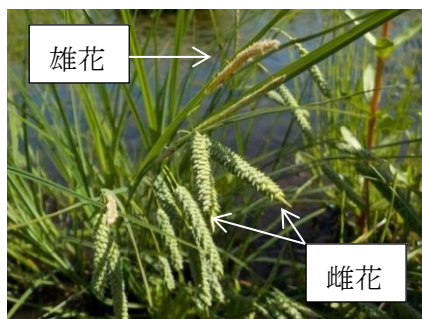
保全区域に去年あった群落は、今年はなくなっていました。冬に霜柱がたったため、枯れてしまったのではないかとというのが加田先生のご見解です。

作業をしていると、小さい株がいくつもみられたので、また群落が復活することとされます。ミミカキグサの保全作業をするときに確認してみましょう。



作業後の状態

4 月 26 日の活動で観察した植物紹介



ヒメゴウソ

湿地に生えるカヤツリグサ科の多年草
茎の先端に雄花が、下に雌花がついています。
雄花と雌花は成熟する時期が異なり（異熟性）、
ヒメゴウソの場合、雄花が先に熟して（雄性先熟）
花粉を放出してしまうことで、自家受粉を防いで
います。



←サルマメ

葉を裏返すと小さい花がみられます。

ズミ

バラ科ですがトゲがありません。→



5月の活動予定 集合時間：午前9時30分から

- | | | |
|----------|-------|----------------------|
| 5月12日（土） | 西部指定地 | 抑制植物駆除 |
| 5月16日（水） | 東部指定地 | 抑制植物駆除（説明会でしたが変更します） |
| 5月23日（水） | 西部指定地 | 食虫植物保全区域 |
| 5月30日（水） | 東部指定地 | 食虫植物保全区域 |

御池沼沢ニュースレター

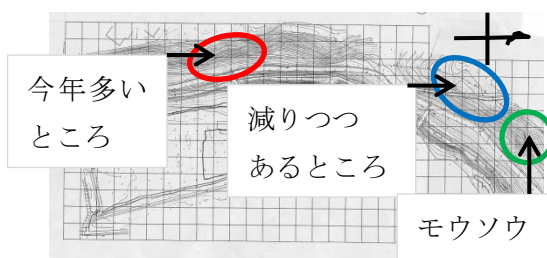
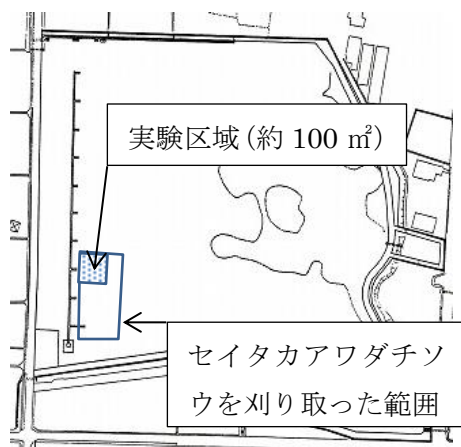
平成 30 年 5 月 23 日 Vol.35

御池沼沢植物群落の貴重な植物の保護にご協力いただきまして、ありがとうございます。

5月には、ヨシやセイタカアワダチソウなどの抑制植物の刈り取りや、西部指定地水源林のタケの駆除などを毎年行っています。

5月12日（土）の活動では、東部指定地で、セイタカアワダチソウの除草を行いました。今年は、セイタカアワダチソウの生育を抑制する実験として、実験区域を決め、毎月セイタカアワダチソウの刈り取りを行います。

抑制できるかは、来年まで観察しなければわかりませんが、うまくいくことを期待しています。ご協力お願いいたします。



左図は、今年の西部指定地のタケノコの生育状況です。これまで多く出ていた水源林北寄りのところは、これまで駆除を重ねてきた成果で少なくなっているようですが、逆に、今まで少なかった南寄りの場所に増えています。この場所は、伐採したタケが積んである場所なので、立ち入る際はマムシにご注意ください（以前見かけました）。

5月12日の活動で観察した植物

トキソウ



←今年は、開花が5月初旬からと、例年より1週間から10日早かったです。

湿地のスミレです。花が、根元からだけでなく、茎の途中からも出ます。→

ツボスミレ(コイシシ)



6月の活動予定

集合時間：午前9時30分から

- | | | |
|----------|-------|--------------|
| 6月6日（水） | 西部指定地 | 湿生植物保全区域 |
| 6月13日（水） | 西部指定地 | 湿生植物保全区域 |
| 6月23日（土） | 西部指定地 | シラタマホシクサ保全区域 |
| 6月27日（水） | 東部指定地 | 抑制植物駆除 |

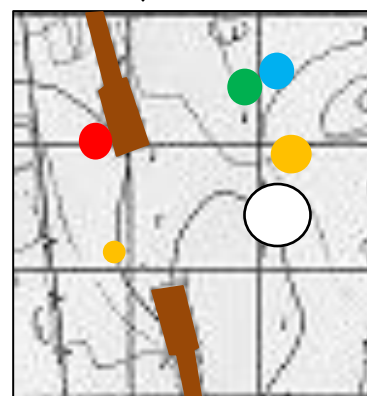
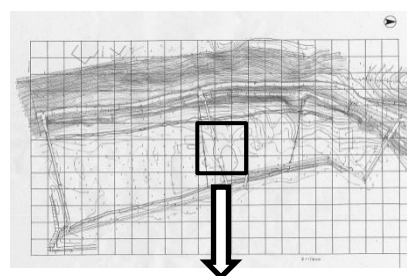
御池沼沢ニュースレター

平成 30 年 6 月 18 日 Vol.36

御池沼沢植物群落の貴重な植物の保護にご協力いただきまして、ありがとうございます。

6月7日・13日の活動で、西部指定地の湿生植物保全区域のヨシの刈り取りを行いました。この区域は、サギソウ・トキソウ・食虫植物をはじめとした、湿地の貴重な植物が多数みられる、西部指定地ではもっとも環境の良い場所の一つです。作業時に気づいた、生育範囲が拡大していた植物をご紹介します。

- ・カキラン●：今年は特に多くみられます。また、生育地が増えていました。
- ・ヘビノボラス●・ヤチャナギ●：イヌツゲを刈った跡のミズゴケブルトに多数萌芽していました。
- ・サワシロギク○：昨年の作業範囲の北端付近で、葉が沢山みられました。花が楽しみです。
- ・モウセンゴケ：今年はどこでも多数みられるようです。花もたくさん咲いていました。
- ・ミズギボウシ：葉がたくさん確認されました。花が楽しみです。
- ・サワヒヨドリ●：観察橋近くで増殖しています。



カキラン



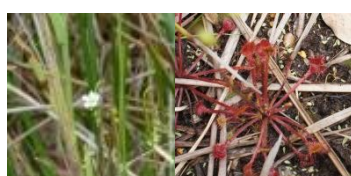
ヘビノボラス



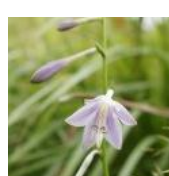
ヤチャナギ



サワシロギク



モウセンゴケ



ミズギボウシ



サワヒヨドリ

冬の除草作業は、湿地の植物にとって良い方向の攪乱として作用しているようです。今年の冬の作業も、頑張りたいですね。

7月の活動予定 集合時間8時 30 分

7月7日（土） 西部指定地 水源林下草刈り作業

7月18日（水） 東部指定地 抑制植物駆除作業

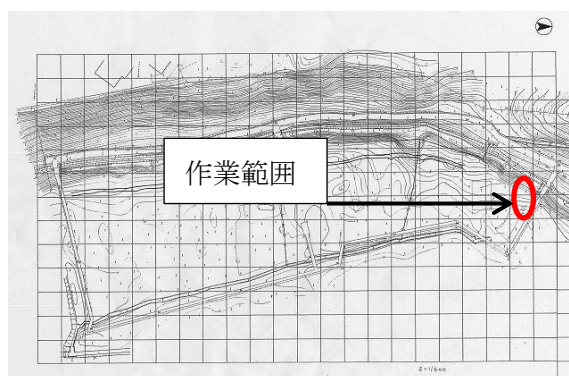
御池沼沢ニュースレター

平成 30 年 7 月 2 日 Vol.37

御池沼沢植物群落の貴重な植物の保護にご協力いただきまして、ありがとうございます。

6月27日の活動では、西部指定地でシラタマホシクサ保全区域の除草作業と、東部指定地でセイトカアワダチソウ抑制実験のための除草作業を行いました。

シラタマホシクサ保全区域には、アキノウナギツカミ、チゴザサ、ヨシが繁茂していました。除草作業をしてみると、シラタマホシクサは、保全区域内のヤチボウズ周辺に多数生育しており、水が流れているところは、種が流されてしまったためかほとんど生育していませんでした。



また、保全区域内では、ノカンゾウ・サワギキョウ・ミズギボウシ・サワヒヨドリ・カキランなどの湿生植物が見られました。特に、カキランは去年までは見かけなかった（気づかなかっただけかもしれませんが）ものですので、昨年11月と1月の作業の効果と思われます。

東部指定地のセイトカアワダチソウ群落は、高さが30～40 cmまで生育したものを刈り取りました。やや土湿のあるところですので、新たな植物が芽生えないか植生の変化を観察していきたいと思います。

6月27日の活動で見られた植物



カキラン



ノカンゾウ



アキノウナギツカミ
(花はこれからです)

お知らせ

8月1日(水)は、文化財整理作業所で、1日かけて植物採集と標本作りの学習会を行います。時間や持ち物の詳細は追ってお知らせしますが、準備物の都合上、参加を希望される方は、石毛までお知らせください。

御池沼沢ニュースレター

平成 30 年 7 月 18 日 Vol.38

御池沼沢植物群落の貴重な植物の保護にご協力いただきまして、ありがとうございます。

ニュースレターVol.30・31 で取り上げたヤチャナギについての続きです。

ボランティア活動の際観察していただいておりますが、今年は、中央の観察橋北側をはじめいろいろなところで、ヤチャナギの萌芽が多数みられます。

ヤチャナギは雌雄異株の植物で、残念ながら御池沼沢植物群落には雄株しかありません。ですので、御池沼沢植物群落で増殖しているヤチャナギはすべて、今あるヤチャナギの地下茎からの萌芽、つまり同じ遺伝子を持つクローンということになります。遺伝子が共通しているということは、生育に適さないような環境変化があった場合に、一斉に枯死する可能性もあるということです。ヤチャナギはミスゴケブルトに繁茂しているので、ミスゴケが生育する環境を維持していきたいですね。



葉



花（3月末から4月初め）

7月11日（水）の活動で見られた植物



←ミカツキグサ

『三重県レッドデータブック 2015』では絶滅危惧Ⅱ類で県内の生育地は 10 か所以下です。

アキノウナギツカミ→

前回、シラタマホシクサのところで抜き取りました。



8月の活動予定

8月1日（水） 午前9時から（1日） 文化財整理作業所 植物採集と標本作り学習会

8月25日（土） 午前8時30分から 東部指定地 抑制植物駆除作業
植物採集と標本作り学習会に参加していただける方は、7月23日（月）までに石毛までお声掛けください。

御池沼沢ニュースレター

平成 30 年 8 月 21 日 Vol.39

残暑お見舞い申し上げます

皆様にはいかがお過ごしでしょうか。いつも御池沼沢植物群落の貴重な植物の保護にご協力いただきまして、ありがとうございます。

8月1日は、植物採集と標本作りについての学習会を行いました。学習会では、実際に植物を採集し、標本を作りながら、植物の採集や標本を作る時の注意や、標本に添付するラベルの記載などについて加田先生から教えていただきました。

標本は、新聞紙に挟んで乾かして作ります。右の写真は、2週間ほどたってできあがったミドリヒメワラビ（左）とイロハカエデ（右）の写真です。もっと縮れて茶色くなるかと思いましたが、きれいな緑色にできあがりしました。



テキストをご希望の方は、石毛までお声掛けください。

7月18日（水）の活動で見られた植物

ホザキノミミカキグサ



ヌマトラノオ



コケオトギリ



そのほか、ミミカキグサやヒメオトギリ（コケオトギリの仲間で一回り大きい）などいろいろな植物が見られました。

9月の活動予定

9月8日（土） 午前8時30分から 東部指定地 抑制植物駆除

9月19日（水） 午前9時から 文化財整理作業所

植物観察の手引き学習会

準備の都合上、学習会にご参加いただける場合は、石毛まで事前にお知らせください。

御池沼沢ニュースレター

平成 30 年 9 月 19 日 Vol.40

御池沼沢植物群落の貴重な植物の保護にご協力いただきまして、ありがとうございます。

8月25日（土）の活動では、今年5月に始めた、セイタカアワダチソウ抑制のための除草作業をしました。

作業前、隣地のセイタカアワダチソウは60～75cm程度に生長していましたが、実験区域のセイタカアワダチソウは、30～45cm程度でした。6月27日のボランティア活動で刈り取った後の生長分が、30cmの差になっています。



また、実験区域は、給水溝からの給水で、だいたい北半分は滞水状態になり、カヤツリグサの仲間・ヒレタゴボウなどが生育していました。残念ながら今のところ目ぼしい植物はありませんが、セイタカアワダチソウが生育しなければ、湿地の植物が生育するようです。刈り取りによりセイタカアワダチソウの勢いが弱まり生育が悪くなるのか、来年度も観察していく必要があります。

8月25日（土）の活動で見られた植物



ミソハギ



ミズギボウシ



ナンバンギセル

今年は、ミズギボウシの咲く時期がちょっと遅いようです。

10月の活動予定 **午前9時30分**からに戻ります

10月13日（土） 東部指定地 抑制植物駆除

まなぼうや通信の取材があります。皆様、是非ご参加ください。

10月24日（水） 視察研修（鈴鹿市金生水沼沢見学を予定しています。
詳細は後日連絡いたします。）

御池沼沢ニュースレター

平成 30 年 10 月 9 日 Vol.41

いつも、御池沼沢植物群落の貴重な植物の保護にご協力いただきまして、ありがとうございます。

10 月 24 日（水）に、鈴鹿市の^{かなしやうす}金生水沼沢植物群落の視察研修を予定しております。金生水沼沢では、沼沢の現状や環境再生事業について、加田先生よりご説明いただきます。今回は、金生水沼沢について簡単に紹介します。

＜国指定天然記念物 金生水沼沢植物群落＞

- 所在地 鈴鹿市地子町
- 指定年月日 昭和 12 年 4 月 17 日
- 広さ 約 7,000 m²
- 概要

鈴鹿市西部に広がる第四紀洪積層丘陵東端に成立した湿地です。発見者である松山外治郎氏の調査では、72 科 222 種の植物が報告されています。

数年前に木道を整備し見学しやすくなっていますが、観察会の時以外、見学できません。

○名前の由来

金生水とは、湿地から沸き出す水が、地子町、西條町、飯野寺家町の 3 地区の灌漑用水源として利用されてきたことから、「金が生まれる水」という意味で付けられたといわれています。

○参考文献

『三重県の文化財』三重県教育委員会、平成 8 年

『鈴鹿市の文化財』鈴鹿市教育委員会、平成 9 年



遠景



中の様子

10 月 24 日（水） 視察研修の予定

- 9 時 文化財整理作業所集合
車に乗り合わせて金生水沼沢植物群落まで移動
- 10 時頃 金生水沼沢植物群落着 視察
- 11 時 30 分頃 金生水沼沢出発
- 12 時 30 分頃 文化財整理作業所着

参加をご希望の方は、車の手配がありますので、10 月 16 日（火）までに、石毛までお声掛けください（それ以降でも車に余裕があればご参加いただけます。）。

御池沼沢ニュースレター

平成 30 年 10 月 24 日 Vol.42

いつも、御池沼沢植物群落の貴重な植物の保護にご協力いただきまして、ありがとうございます。

突然ですが、11月3日（土・祝）に、愛知県武豊町から吉町田湿地の保護活動をされている吉町田湿地を守る会の方々が御池沼沢の見学に来られます。

前号では、鈴鹿市の金生水沼沢植物群落について紹介しましたが、東海地方、特に愛知県には、御池沼沢や金生水沼沢と同じような貧栄養湿地が多数あります。今回は、吉町田湿地について簡単に紹介します。

＜愛知県指定天然記念物 吉町田湿地植物群落＞

○所在地 愛知県知多郡武豊町吉町田

○指定年月日 昭和59年（1984）3月30日

○広さ 11,000㎡

○概要

海拔40～50mの丘陵斜面に立地し、中央部の湧水が流れる小さな沢をはさみ2か所の湿地があります。シロバナナガバノイシモチソウ、ヒメミミカキグサなど豊富な食虫植物を始めとする湿生植物が生育しており、平成2年の調査報告書では、101科、334種の植物が確認されています。

昭和50年代終わりから昭和60年代初めにかけて、用地買収と環境整備が行われ、湧水が不足するときのために、雨水や湧水を溜め、散水する施設が作られています。

○参考文献

『愛知県指定天然記念物 吉町田湿地植物群落 調査報告書』武豊町教育委員会、平成2年

『中部の湿原』財団法人東海財団、平成7年

11月の活動予定 午前9時30分から

11月10日（土） 東部指定地 抑制植物駆除

11月21日（水） 学習会（予定） 検討中ですので変更があるかもしれません。その場合、追って連絡します。

11月28日（水） 西部指定地 シラタマホシクサ生育地環境保全

お知らせ

11月3日（土・祝）午後2時から、愛知県武豊町の吉町田湿地を守る会の方々が見学に来られます。石毛は説明のため、御池沼沢に行っています。よろしければ、他の湿地で活動されている方と交流してください。

御池沼沢ニュースレター

平成 30 年 11 月 14 日 Vol.43

いつも、御池沼沢植物群落の貴重な植物の保護にご協力いただきまして、ありがとうございます。

10 月 24 日の金生水沼沢植物群落の視察研修に、多数ご参加いただきましてありがとうございます。私も何年かぶりに中に入り見学しましたが、きれいになっているなとうらやましく思いました。

金生水沼沢植物群落のフェンス内の様子です。



ヨシがなく沼沢が見渡せる状態と→
(御池もこのようにしたいですね)
移動できる木道と柵



←入り口には靴の裏の土落としがあり、
種子や土の持ち込みに気を使っています



←水が浸みだしている崖と水路

以前はもっと沢山湧き出ていたということですが、御池沼沢に比べると湧水が沢山あると思いました。

金生水沼沢は 15 年ほど前には雑木林になっていたということですが、樹木を伐採・抜根したりこまめな除草作業をしたりすることで、湿地の植物を復活させることができることを勉強しました。

11 月の活動予定 午前 9 時 30 分から

11 月 21 日 (水) 学習会 (キク科植物について)

11 月 28 日 (水) 西部指定地 シラタマホシクサ生育地環境保全

学習会にご参加いただける方は、資料準備の都合上、前日 20 日 (火) までにご連絡ください。

御池沼沢ニュースレター

平成 30 年 11 月 27 日 Vol.44

いつも、御池沼沢植物群落の貴重な植物の保護にご協力いただきまして、ありがとうございます。

11 月も終わりに近づき、湿地の花もほぼ終わりました。今回は、気付いた限りの保全種の増減について整理します。

	【東部指定地】	【西部指定地】
数が増えたもの	クロミノニシゴリ・ノハナショウブ・ミミカキグサ・ヌマトラノオ・ホソバリンドウ・ヤマラッキョウ	カキラン・サワシロギク・シラタマホシクサ・キセルアザミ
例年より少なかったもの	ナガボノアカワレモコウ・ミカワシンジュガヤ・サワギキョウ	ムラサキミミカキグサ・ノカンゾウ・ミカツキグサ

例年より少なくなったもののうち、東部指定地のナガボノアカワレモコウは、春先、葉は沢山みられましたので、ヨシなどの高茎草本が生長して日陰になってしまったのが原因と思われます。ミカワシンジュガヤの増減の原因はよくわかりませんが、サワギキョウは、説明板南側の現在ヨシの群落であるところに生育していましたので、ヨシにより生育が妨げられていると思われます。

西部指定地のムラサキミミカキグサは、今年は春先、生育地に十分水が行き渡っておらず、やや乾燥していたことが原因と思われます。ノカンゾウは、生育地が樹木の陰になってしまっていることと、密集して生えすぎていることが原因と思われます。ミカツキグサは、生育地を昨冬除草しなかったことが原因と思われます。今年は、除草する予定です。

他にも増減しているものがありましたら、情報をお寄せください。よろしくお願いします。

12月の活動予定

- 12月9日(日) 8時30分 寺方町文化財整理作業所(送迎有り)
東部指定地の全面除草を地域の方々と行います
ご参加いただける方は石毛までお声掛けください
雨天の場合、16日(日)に延期の予定です
- 12月10日(月)(追加です) 9時 東部指定地 大池中学校1年生
と前日刈った草の片づけをします
- 12月19日(水) 9時30分 西部指定地 食虫植物保全区域除草

御池沼沢ニュースレター

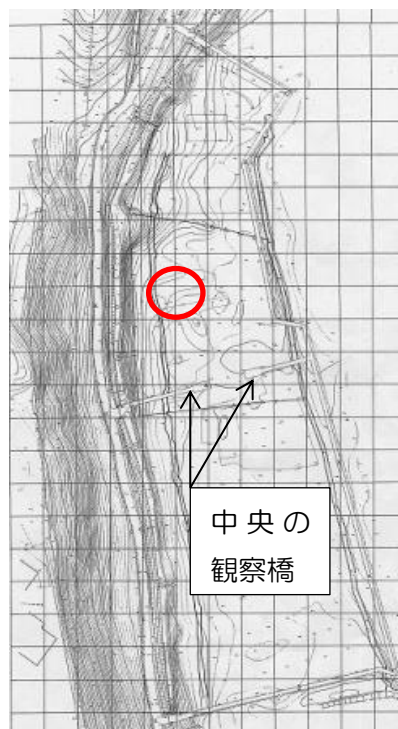
平成 30 年 12 月 14 日 Vol.45

いつも、御池沼沢植物群落の貴重な植物の保護にご協力いただきまして、ありがとうございます。

前号で、今年の保全種の増減について整理しましたが、11月28日（水）に行いましたシラタマホシクサ保全作業の際、新たなことに気づきましたので、前号を一部修正したいと思います。

まず、シラタマホシクサのことです。平成 29 年 11 月 14 日のニュースレター Vol.26 でシラタマホシクサの生育場所のことを書いておりますが、このうち右図赤丸の地点（ニュースレター Vol.26 で C としている場所）で、生育範囲が広がり、アンペライの中に混在していることを確認しました。

また、この場所には、ミカツキグサも混在していました。ミカツキグサは、中央の観察橋の北側あたりでは、例年より少なくなりましたが、ここでは多数みられました。生育範囲が北に少し移動したようです。



シラタマホシクサ



ミカツキグサ



生育地の状況

それでは、よい年をお迎えください。来年もよろしくお願いいたします。

1月の活動予定 午前9時30分から

- 1月12日（土） 西部指定地 ヤチヤナギ保全作業
- 1月23日（水） 学習会（トウダイグサ科） 文化財整理作業所
- 1月30日（水） 東部指定地 冬季除草作業続き（活動日追加です）

御池沼沢ニュースレター

平成 31 年 1 月 4 日 Vol.46

あけましておめでとうございます

本年もよろしくお願いいたします。

平成 30 年度も4分の3が過ぎました。平成 30 年度は、皆さんと話し合いを行い、これまで行ったことのない取組みとして、セイタカアワダチソウを抑制するため、頻繁に刈り取ってみるという実験を実施してきました。この実験は、何年かにわたって実施して効果をみる必要がありますが、生育範囲を広げつつあるセイタカアワダチソウを抑制し、湿地状態にあるところには少なくともセイタカアワダチソウが生育しないようにできればと思っています。



セイタカアワダチソウ

さて、平成 31 年が始まるにあたり、平成 30 年度中に行ってきた取組みとその効果について、一度整理してみます。

取組み① 4～6月に実施する除草作業

→保護している湿生植物の芽生えや成長のため、日照を改善し、埋土種子が地表に上がってくるようにする。



4/26 東部指定地作業



ミミカキグサ



ホザキノミミカキグサ



5/24 西部指定地作業



トウカイコモウセンゴケ

西部指定地は、少し少なかったですが、今年も食虫植物が沢山発芽しました。11月が暖かったためか、東部指定地ではミミカキグサが12月に咲いていました。

(次号に続く)

1月の活動予定 午前9時30分から

- 1月12日(土) 西部指定地 ヤチヤナギ保全作業
- 1月23日(水) 学習会(トウダイグサ科) 文化財整理作業所
- 1月30日(水) 東部指定地 冬季除草作業続き(活動日追加です)

御池沼沢ニュースレター

平成 31 年 1 月 21 日 Vol.47

今回は、前号（vol.46）に続いて、平成 30 年度に実施してきた取り組みについて整理します。

取組み② ヨシやセイタカアワダチソウなど抑制植物の刈り取り・抜き取りによる駆除

→抑制植物を駆除することで、湿生植物の日照環境を良くしたり、陸地化の進展を遅らせたりする。



5/16 東部指定地作業

駐車場すぐ北側での、アメリカセンダングサ・オオハルタデの抜き取り作業です。保存すべき植物は生育していませんが、外来種の抑制はできました。



6/13 西部指定地作業

毎年行っている観察橋間のヨシの刈り取り作業です。平成 30 年も、サギソウなど様々な植物がみられました。

（次号に続く）

2月の活動予定

2月3日（日） **午前8時50分**から 西部指定地の全面除草を地域の方々と行います。ご参加いただける方は石毛までお声掛けください。雨天の場合は2月10日（日）に延期の予定です。

2月6日（水） **午前9時30分**から 西部指定地 冬季除草作業続き

2月20日（水） **午前9時30分**から 西部指定地 冬季除草作業続き

お知らせ

広報よっかいち1月下旬号で、平成31年4月からの環境保全ボランティアの募集をしています。来年度も引き続きご参加いただける方は、石毛までお声掛けください（応募用紙は不要です）。

御池沼沢ニュースレター

平成 31 年 2 月 14 日 Vol.48

今回は、前号・前々号（vol.47・46）に続いて、平成 30 年度に実施してきた取り組みについて整理します。

取り組み③ 冬季の全面的な除草作業

→春以降に芽生える植物のために日照を確保する。

湿地が今以上に富栄養化しないよう、除草で出た刈り草を湿地から搬出し、栄養分となるものが湿地に残らないようにする。



2月6日の活動では、2月4日の地域の方との除草作業に加えて、さらに徹底して除草と集草をしました。

取り組み④ タケノコの掘り取りによるタケ増加抑制と水源林の整備



春はタケノコを踏み倒し、夏以降は、成長したタケを刈り取り、広葉樹が成長する環境を作っています。

お願い

最近、御池沼沢周辺でシカ（メスの成獣）1頭が出没しています。西部指定地に入出入りしているという情報もあるので、食害等に気を付けております。目撃情報がありましたらお寄せください。

3月の活動予定 午前9時30分から

3月6日（水） 31年度活動計画打合せ 文化財整理作業所

3月13日（水） 学習会（サクラソウ科の予定） 文化財整理作業所

3月16日（土） 31年度活動説明会 文化財整理作業所

御池沼沢ニュースレター

平成 31 年 3 月 8 日 Vol.49

最近、湿地内で行った活動について紹介します。

1 月 12 日（土）に、西部指定地の中央観察橋北側にあるヤチャナギ群落で除草作業をおこないました。この場所では、昨年も除草作業をおこない、イヌツゲを伐採した跡地には、カキランやヘビノボラス、ヤチャナギがみられました。



カキラン

今年もヤチャナギを残しながら除草するだけのつもりでしたが、除草するだけではまたイヌツゲが伸びてくるので、イヌツゲの根を抜く作業に自主的に取り組んでいただきました。作業をしたヤチャナギの群落は、ミスゴケブルト上にあり、イヌツゲの根は、地表から 5 センチくらい下のところを横に這っていて、抜こうとすると、周り一帯から根がミスゴケと一緒ににはがれてくるので、ミスゴケと根を分別したりして大変な作業だったと思います。ありがとうございました。



イヌツゲが生えている様子

何が生えてくるか、夏になるのが楽しみです。



イヌツゲを根から抜いた跡



作業の様子

3月の活動予定 午前9時30分から

3月13日（水） 学習会（サクラソウ科の予定） 文化財整理作業所

3月16日（土） 31 年度活動説明会 文化財整理作業所

ご参加いただける方は、資料準備の都合上、石毛までお声がけください。

御池沼沢ニュースレター

平成 31 年 3 月 27 日 Vol.50

1 年間ありがとうございました

平成 30 年度も現場作業や、視察研修、学習会にご参加いただきありがとうございました。この 1 年の主な活動を振り返ってみました。



西部 タケ対策(4/14)



西部 観察橋間ヨシ刈り取り(6/13)



金生水沼沢植物群落視察(10/24)



武豊町見学受け入れ(11/3)



植物観察の手引き学習会(11/21)



西部 ヤチヤナギ群落除草(1/12)

来年度もよろしくお願いいたします。

4月の活動予定 午前9時30分から

4月10日(水)	西部指定地	水路浚渫・ヤチヤナギ周辺除草
4月13日(土)	東部指定地	ハンノキ伐採
4月24日(水)	西部指定地	タケノコ・タケ対策